

浜長保険センター安全だより

令和4年10月1日
 浜長保険センター 第71号
 電話 079-246-2561
 FAX 079-246-2571



高く澄みきった空に心も晴れ晴れとする今日この頃。10月は自然が大きく変化する季節です。収穫の秋、行楽、スポーツ、読書、何をするにもよい季節であります。体調を崩されないようくれぐれもご自愛ください。



先月は、コンビニ駐車場、スーパー等の駐車場で後退事故が多い理由と防止対策について、説明しましたが引き続き、事故を未然に防止するための対処法について、説明したいと思います。

コンビニ・スーパー等の駐車場に入ると注意力が何故、低下するのか？その要因を挙げると

- 1 交通規制がなくどこからでも出入りが自由で交通ルールに従わなくても、警察の取締りが無い。
- 2 交差点がなく、誘導線がない場合、自由に通行しており、右左折時の合図もなく、低速である。歩道がないため歩行者や自転車が自由に通行している。
- 3 前向き駐車が表示がない場所でも、前向きに駐車しているため、発進するときは、死角が多い状態で後方の安全確認を十分にせず後退している車が多い。
- 4 通路を通る車、バイク、自転車、歩行者は、駐車車両の動きに十分注意せず、直近を通っている。

通路を走行中、バック車と衝突



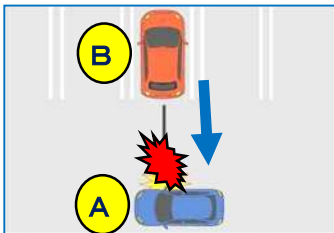
原因と考察

- A 駐車車両の直ぐ近くを通行している。
 B車のバックランプを確認していない。
 B 左側に駐車車両があるため、左後方が死角になって、確認できないのに下車して確認していない。又前向き駐車した場合、発進時には死角が多い状態でバックしている。

未然防止のための対処

- A B車のバックランプを確認し、点灯しておれば、その動きによって停止又は警音器で注意を促す。
 B 乗車する前に後方の左右と周辺を目で確認し、窓を開けてゆっくり後退する。車だけでなくバイク、自転車、歩行者も含めてしっかり確認する。

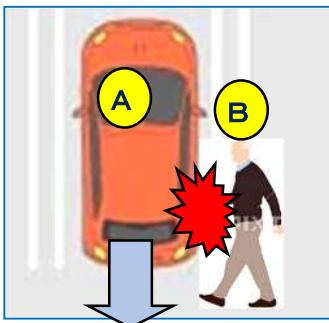
通路を走行中、バック車と衝突



- A 駐車車両の後方を通行するとき、B車のバックランプを確認していない。
 B 左後方の確認が不十分のまま、後退している。後方を通過する者が避けてくれるだろうという簡易な考えは、高齢者や子どもがいた場合、通用しない。

- A B車がバック中であれば、直進優先の意識を捨て停止する。それでもバックする時は警音器で警告する。
 B バックする前に後方の左右、周辺に車、バイク、自転車、歩行者いるかしっかり確認する。後退ギア-R(リバース)に入れて一呼吸し、ゆっくり発進する。

歩行中、バックした車と衝突



- A 自動車だけを意識して確認したため、右から来ていた歩行者を見落としている。
 B 車がバックするとき、バックランプが点灯するが、注意することなく、漫然と車の後方を通行している。

- A コンビニ駐車場は、車のほかバイク、自転車、歩行者の通行があり、後方左右の歩行者もしっかり確認する。
 見える範囲は、目と耳で確認する。
 B 歩行者は、A車のバックランプを確認し、点灯しておれば後方を通行しない。無関心で車の近くを通行しない。



～ バックするとき、カメラに頼らず 足で確認、耳と目で確認 ～